

関西吹連 NEWS

発行 関西吹奏楽連盟広報委員会
 発行所 530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18
 朝日新聞大阪本社内 関西吹奏楽連盟事務局
 TEL 06-6202-1231 FAX 06-6202-7878
 URL <http://www.kansaisuiren.jp>

ごあいさつ

関西吹奏楽連盟

理事長 米田 正博



みなさんこんにちは。早いもので、平成26年度関西吹奏楽連盟の行事もコンクールとマーチングコンテスト、小学校バンドフェスティバルが無事に終了いたしました。これも参加団体の皆様のご協力と、主管していただきました各府県連盟の絶大なお力添えのおかげと、大変感謝しております。

まず「関西吹奏楽コンクール」は、8月24日(日)に大学、一般の部を、翌25日(月)に中学校、高等学校小編成の部を、滋賀県吹奏楽連盟の主管により守山市民ホールで開催しました。またその後、会場を

移動し、26日(火)に中学校Aの部を、27日(水)に高等学校Aの部を、兵庫県吹奏楽連の主管によりアルカイクホールで開催し、両会場とも夏の暑さを吹き飛ばす素晴らしい演奏が繰り広げられました。

次に「小学校バンドフェスティバル」は昨年引き続き、兵庫県吹奏楽連盟の主管により8月30日(土)にグリーンアリーナ神戸で開催されました。関西では「子どもバンドフェスティバル」とも呼ばれるこの大会で、小学生らしい可愛らしい演出から、中高生にも負けない迫力のある演奏まであり、観客の皆さんも大いに感動していただいたものと思います。

次にすっかり関西マーチングの甲子園となりました「大阪市中央体育館」では、9月23日(火)秋分の日、「関西マーチングコンテスト」が大阪府吹奏楽連盟の主管で開催されました。近年のマーチング人気もあって、特に高校以上の部では前売り指定券が1日で完売してしまい、当日も満員の人気でした。

最後に、本年度は関西吹奏楽連盟の担当ではないのですが、「第13回西日本バンドフェスティバル」が、

北陸吹奏楽連盟の皆様のお世話により、9月27日(土)に福井県立音楽堂で開催されました。まず西日本6支部からの参加による交流演奏会があり、会場は満員の熱気の中、各支部の代表によるすばらしい演奏と楽しい演出が続き、とても盛り上がりを見せて終了しました。その後、皆が待ちに待った交流会も、中高生の強烈パワーが遺憾なく発揮され、素晴らしいあつという間の一日でした。また次の日は、福井県立恐竜博物館というユニークな会場で、一般の観光客も巻き込んだ野外演奏が繰り広げられ、晴天の下、出演者も観客も大いに楽しみました。

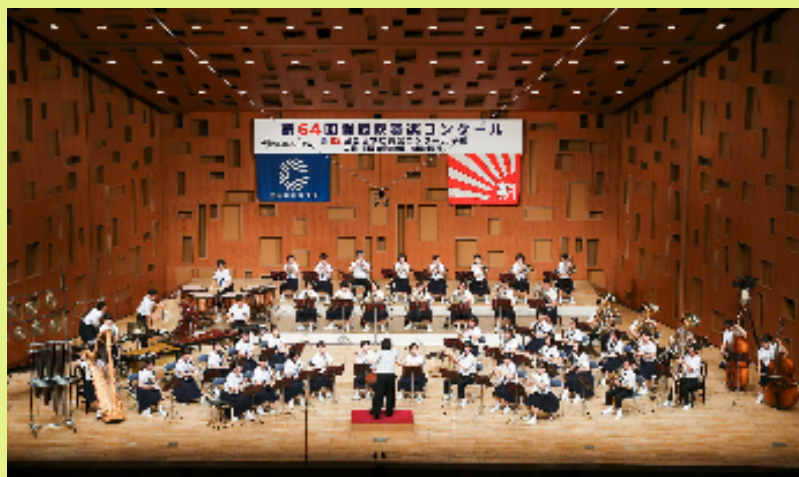
前半の事業が終了し、この後、全日本の主管行事や年明けの関西ステージマーチング、関西アンサンブルコンテストが迫っています。すべての行事が無事に成功しますように、役員一同全力で取り組んでいきます。加盟団体の皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

第64回 関西吹奏楽コンクール

関西吹奏楽コンクールは、8月24日(日)に「大学、職場一般の部」を、翌25日(月)に「中学校・高等学校小編成の部」を滋賀県の守山市民ホールで、また、26日(火)に「中学校Aの部」、27日(水)に「高等学校Aの部」を兵庫県のアルカイクホールで開催いたしました。

関西の吹奏楽の力は益々高まり、前年の演奏が参考にならないくらい表現力がアップして、聴く人たちを強く感動させてくれます。これは、生徒たちのたゆまぬ努力と、各校で指導される先生方のご苦労と研鑽の成果だと思います。益々の成長を期待します。

これらの大会を主管いただきました、滋賀県吹奏楽連盟、及び兵庫県吹奏楽連盟の役員、補助役員の皆様には大変ご苦労をおかけし、本当にありがとうございます。深く感謝申し上げます。



吹奏楽の今昔 ♪♪♪

現在は少子化といわれ、生徒数は私が学生の頃の3分の2くらい(中学校は半分以下でしょうか)ですが、部員数は昔より増えています。これは、各学校の指導者のご尽力の賜物だと思います。自分が生徒の時の先生像と自分が先生になって感じる先生像は違うのですが、毎日試行錯誤しながら活動しています。

時代は情報化でめまぐるしく変わっていますが、吹奏楽は昔からいい意味で変わっていないと思います。吹奏楽が益々発展し、社会の一つのジャンルになってほしいと思います。来年は国体・高校総体が和歌山で開催されます。これからも努力していきますのでご協力よろしくお願いいたします。

(和歌山県吹奏楽連盟理事長 森貞 昌春)

第42回関西マーチングコンテスト

去る9月23日(祝)42回目を迎えた関西マーチングコンテストが大阪市中央体育館で行われました。午前中に行われる高等学校以上の部ではすでに前売り券をお持ちのお客様によって早朝よりできた長蛇の列を見て、満員のお客様の中で開催できる喜びをひしひしと感じました。

審査員の先生方には、年々向上するマーチング技術に困惑しながらも、真剣に取り組んで頂き感謝いたします。

ただ今回は、規定課題の審査に関して難しい判断を迫られる場面がいくつかありました。時間や人数といった運営に関する事以外の細則に疑問を感じ、第1回大会から続いている「動きに関する規定」を、その存続も含め再検討する必要性を感じた大会でもありました。一方で、もっと参加団体を増やそうと努力する役員諸先生との矛盾も浮き彫りになってきたのも確かな実態です。これは、11月23日に大阪城ホールで行われる全国大会でも起こりうる問題でもあります。もっと気軽に参加でき、お互いの努力を称え合う楽しいマーチングの姿を求め、役員として今後、さらなる努力をすべきであると自省する大会でした。

最後になりましたが、毎年、運営を担当していただきます大阪府吹奏楽連盟の皆様にご改めてお礼申し上げます。

(関西吹奏楽連盟理事 山本 富男)

関西小学校バンドフェスティバルについて

今年度の小学校バンドフェスティバルは8月30日(土)にグリーンアリーナ神戸で16校(2校の合同あり)の参加により、良い天気のもとで開催されました。ただ今回の大会において、運営面で大きな課題が残りました。メインアリーナの使用方法について会場側の方針と参加団体の発表方法に大きな違いが生じ、参加団体の皆様にはたいへんご迷惑をおかけしました。大会の後、理事会でなんとか加盟団体の発表がスムーズにいくように検討しました。そこで参加説明会の時に加盟団体の皆様が主張されていた、メインアリーナ全面にシートを引き、その上にマーチング用のラインを引くことを決定させていただきました。メインアリーナ全面シートも専門業者によってきっちり引いてもらうようにします。来年度の大会に向けてこの決定事項をいち早く加盟小学校の皆様にお知らせし、昨年以上の多くの学校に参加いただきますよう、ご案内いたします。

(関西吹奏楽連盟事務局長 岡本 廣敏)